

5月・6月の催し物

紙の博物館 ☎ 893-0886

- 第16回いの町和紙ちぎり絵
サークル展
4月21日(金)～5月7日(日)
いの町和紙ちぎり絵サークル会員による展示会。四季おりおりの草花や風景など50点余を展示。
- 第5回和紙絵・陶器ほのぼの展
4月29日(土)～5月7日(日)
久保博恵さんの土佐和紙を使用しふくらみをもたせ、独特の温かさを出した和紙絵30点余と、水田康子さんの虹色や深海をイメージした色彩の陶器380点余を展示。
- 国際版画交流展高知巡回展
4月29日(土)～5月21日(日)
日本・カナダ・オランダ3カ国の版画工房を結ぶ交流展を開催。3カ国総勢65人の作品100点余を展示。
- プリザーブドフラワー展
5月10日(水)～5月21日(日)
山本智恵さん・理恵さんによる作品展。プリザーブドフラワー(水やり不要の枯れない不思議な生花)のアレンジメント作品を70点余展示。



- 第7回錦蘭キボウシ展
5月12日(金)～5月14日(日)
いの町の上田敬三さん、青木勝一さん、高知市の高橋政勝さん、須崎市の森田郁雄さんの展示会。錦蘭100鉢、キボウシ20鉢、山野草30鉢余を展示。
- 「怪獣は火星を目指す」
海・流木「怪獣展」

5月17日(水)～5月21日(日)
中土佐町の森下佳把、恵子さんによる海・流木「怪獣展」を開催。海・流木を利用した作品2,000点余を展示。

- 竹久夢二展
5月24日(水)～6月18日(日)
国民的版画家、竹久夢二の木版画大小30点余、夢二デザインのグッズ70種、絵はがき、便箋など1,000点余を展示販売。

- 小品盆栽や草ものど
土佐の水石名品展
5月26日(金)～5月28日(日)
藤田征四郎さん・中越敬二郎さんによる展示会。盆栽12席と水石12石を展示。

- いの町山野草保存会
第19回初夏の山野草展
5月26日(金)～5月28日(日)
いの町山野草保存会の皆さんによる展示会。初夏の蘭科植物や山野草など色とりどりの草花を400点余展示。

ギャラリー・コパ

☎ 893-1200

- 百年の織物 京都西陣
「山口伊太郎」展
同時開催 カシミアル伝統の織物展
5月3日(水)～5月7日(日)
京呉服あすかとヤスミンの展示会。西陣織で源氏絵巻物を復元した山口伊太郎の織物や帯を30点余と、インドカシミアル地方の織物や手染めのストールなど、合わせて100点余を展示販売。
- 紬の洋服・生活骨董
時代筆筒・布展
5月10日(水)～5月14日(日)

京都在住の栗林桐子さん、松山ももたろうさんの展示会。古布を活かして作った、春、夏のジャケットやスカート、時代筆筒や生活骨董品など合わせて300点余を展示販売。

- 茂平窯グループ展
5月17日(水)～5月21日(日)
日高村「茂平窯」の隅田茂平さんとその生徒による作品展。昔ながらの「薪窯」の手法で焼いた壺や明かり、花入れ、日々の器等500点余を展示販売。



- 古布に魅せられて
薫風に揺れて夏迎えるころの個性際立つ服
5月25日(木)～5月31日(水)
日高村の尾崎富佐さんの展示会。刺子のジャケットやワンピース等の他に、舶来のレースや更紗の洋服も展示。また、絵画や器等合わせて300点余を展示販売。

- 第9回プラモデル展示会
6月4日(日)～6月11日(日)
大人から子どもまで幅広い世代が楽しめるプラモデルの展示会。バイク・車・船・飛行機・戦車等と、ガンダムをはじめキャラクターのものまで250点余を展示。
- 琉球からみちのくへ染め織りの旅
6月14日(水)～6月18日(日)
特選呉服いしはらの展示会。福岡県出身の紅型染色作家、黒川たかえさんの作品、タペストリーや帯、スカーフ等を紹介。日本全国の伝統工芸の染め織りの着物や帯、和の小物等合わせて300点余を展示販売。

土佐和紙工芸村だより

☎ 892-1001

「古伊万里の美」染め付けと「ヨーロッパ里帰り品」
「古伊万里」とは江戸前期の1610年ごろから幕末まで、佐賀鍋島藩有田町で焼かれた磁器をいいます。なかでも藍色の呉須で絵付けした「染め付け」は古伊万里を代表するものです。器には植物をモチーフにした文様がふんだんに用いられ、デザインの斬新さも見どころの一つといえます。

本展では、染め付けを中心に、古伊万里の中でも大変希少となった初期伊万里や、全盛期の伊万里、ヨーロッパに輸出されていて日本に里帰りしたものなどを展示し、古伊万里の歴史をたどりながら、その美と魅力を紹介します。鉢、皿、壺など展示点数約100点。

期間 4月22日(土)～

5月28日(日)

会場 土佐和紙工芸村

問い合わせ
ギャラリーぼたにか

☎ 892-2772